

リハビリテーションとは？

リハビリテーション部の紹介

リハビリテーション部主任 土井 篤

リハビリテーションとはどういう意味でしょうか？
英語(アルファベット)で書いてみると Rehabilitation
と書きます。Re(リ)は、再び。Habilis(ハビリス)は、
人間にふさわしい。Ation(エイション)は、することと
いう意味です。したがって、再び人間にふさわしいこ
とをするという意味です。言い換えれば、人間として
の権利・名誉の回復という意味になります。

みなさんは、リハビリテーションと言われてイメ
ジするのは、訓練室のベッドに寝て療法士に治療を受
ける。手を直すために療法士に与えられた作品を仕上
げる。静かな部屋で話し方の指導を療法士から受ける
ということイメージすると思います。言い方が悪い
ですが、リハビリテーションとはこのような受け身の
なことではなく、様々なサポートを使って利用者様が
希望する活動(家の中で行っていること、日常の生
活)や参加(他の利用者様との交流、役割、地域の役
割など)を自主的に行っていただくことと考えます。
あくまでも利用者様が主役で私たちリハビリテーシ
ョンスタッフはそれをサポートしていく黒子のようなも
のと考えています。

現在、リハビリテーション部に所属しているスタッ
フは、理学療法士4名、作業療法士2名、言語聴覚士
1名です。

利用者様が「大磯幸寿苑」を利用して良かったと思える
ように

- ① その人を知り、その想いをたいせつにしたリハ
- ② その人の「生活」に繋がっているリハ
- ③ 心地よい時間を過ごせるリハ

をモットーにリハビリテーションスタッフおよび各部
門のスタッフと連携し努力していきたくと思います。

広報誌「ひやくじゅ」では今後、リハビリテーシ
ョンを構成している理学療法士、作業療法士、言語聴
覚士を紹介します。どうぞお楽しみにしてください。

リハビリフォトレポート

新型コロナウイルス感染拡大のため、2月中旬より面
会の禁止、各種イベントの中止、ボランティア等の中
止となりました。そこで利用者さんの個別訓練やグル
ープ訓練の近況報告をします。

女性ご利用者様

機能訓練室での個別訓練の様
子です。体力づくりに励んでま
す。階段も昇降できるようにな
りました。



女性ご利用者様
幸寿苑の生活、リハビリと個別訓
練で100歳になっても介助があ
れば歩けます。

男性ご利用者様

週3回個別訓練を行っています。
最近朝の体操に参加したり、トイ
レでスムーズに排泄ができるよう
になりました。また平行棒内での歩行
練習も初めています。



男性ご利用者様

介護士さんとフロアトイレの移動は
歩行で行っています。個別訓練で体力
づくりに励んでいます。

女性ご利用者様

週1回ずつの個別訓練やグル
ープ訓練に励んでいます。
98歳ですがベッドと車いす
の乗り移りを自分で行って
います。



男性ご利用者様

男性最高齢者96歳です。
週1回ずつの個別訓練やグループ訓練に励んでいま
す。椅子への乗り移りが楽にできます。



グループ訓練

○故郷の会

毎週1回水曜日に棒や風船を使
って、楽しく運動しています。
毎週、メンバーに会うことを楽し



みにしている利用者様もいらっしゃいます。



○菜の花の会

週1回火曜日に昔の思い出に話が弾んだり、楽しく身体を動かして行っています。菜の花の会の時間になると自分から出向いて来る利用者様もいらっしゃいます。



○富士見会

なじみのメンバーで週1回集まって昔のことを思い出したり、ゲームを通して頭の体操などを行っています。



○七福神の会

週1回木曜日になじみのメンバーと昔のことをお話ししながら楽しく運動しています。この会がきっかけで日常でもやり取りしている利用者様もいらっしゃいます。



○虹の会

週1回木曜日になじみのメンバーと昔のことをお話ししながら楽しく運動しています。メンバーの利用者様は他の利用者様のお話を関心持って聞いています。



職員紹介

看護師 伊藤理恵

私は当初、派遣看護師として幸寿苑にお世話になり、今年の2月から非常勤として入職し、4か月ほど経ちました。今までも施設の経験はありましたが、派遣で働いていたため、初めは不安でしたが周りの方々がとても優しくサポートをしてくださったおかげで、今では明るく楽しい職場の雰囲気の中で働くことができています。また、「お疲れ様。」「今日もありがとう。」「気をつけて帰ってね。」と、笑顔で手を振ってくれるご利用様に救われる毎日で、とても励みになっています。そんなご利用様に、たくさん笑顔で楽しく過ごしてもらえるように、ご利用様第一でこれからも働かせて頂きたいと思っております。



一枚に愛をこめて

5月には利用者さんへの面会が中止され3カ月が過ぎ、この間4月16日には新型コロナウイルス特定緊急事態宣言が発令されました。ご家族の方は利用者さんの健康状態や、コンサートやカラオケ、華道、コーヒー喫茶、フラワーアレンジメント、書道・骨太体操などのボランティアも中止となり楽しみの少ない中でどのように過ごされているのか、そして利用者さんは家族の方に会えない寂しさとそれぞれが気になる状況のことと思います。大磯幸寿苑では5月に利用者さんの近況の写真と、利用者さんが家族に向け愛情をこめて記載したカードを封書で送りました。家族の方も利用者さんが元気になるメッセージをぜひ返信し、利用者さんを励ましてくださるよう願います。

フォトレポート

4月14日 「タケノコご飯」タケノコは3月下旬から5月頃が旬、甘みが増し春の香り豊かな筍ご飯にしました。



4月17日 2階レクリエーション
ボール送りゲームに熱中！！



4月26日
春の暖かさにつられ、屋上で日向ぼっこを楽しむ。



5月3日 「チラシ寿司
とカツオのたたき」
「目には青葉 山ほととぎす はつ鯉」山口素堂の俳句です。江戸時代には初鯉を食べるのが粋の証だったようです。



5月5日 「太巻きすしと赤飯いなり」



子供の成長を願う気持ちをこめて、賑やかな太巻きすし・お祝いを兼ねた赤飯いなりを、用意しました。

マスク作り

女性ご利用者のお二人が、家族やスタッフにさしあげるために一針一針愛情こめて一生懸命マスクを作りました。



6月11日 進入路沿いの芝生の中にラン科の小さな「捻花」が咲いていました。百人一首に次の一首が詠われています。作者は、河原左大臣。

陸奥の
しのぶもぢぢり
誰ゆゑに
乱れ染めにし
我ならなくに



6月25日 冷し中華

夏の風物詩として7月の季語にもなっている「冷やし中華」は、中国で好まれている涼拌麺と日本人が好きなざる蕎麦から発想して作られた日本料理です。山盛りにした麺の上に放射状の盛り付けは富士山の形、ピンクのハムは春、緑の胡瓜は夏、錦糸卵は秋、白色のモヤシは冬と四季を表していると言われています。



6月25日 1階レクリエーション
風船バレーを楽しみました。



7月7日 そうめん

七夕の日に、素麺を天の川にみたてて食べる風習があったことから。

